

報道関係各位

2012年9月26日

**大学生のキャリア意識とダイバーシティマネジメントへの関心を喚起
企業の第一線で活躍する女性社員が教える 企業人講座がスタート**

立教大学、お茶の水女子大学 で今秋より

NPO法人 J-Win（ジャパン・ウィメンズ・イノベティブ・ネットワーク）では、今秋から会員企業の女性社員が実際の授業を行う企業人講座を、立教大学とお茶の水女子大学の両大学と協同して行うことになりました。立教大学での最初の講義は9月29日（土）より行います。企業の第一線で働く女性達からの、実際の体験や失敗談などを交えた講義により、学生たちが自分にとっての働く意味、キャリアデザイン、人生について考えるきっかけとなることを目指しています。

NPO法人 J-Winでは、『ダイバーシティ&インクルージョンの推進により企業における女性の活躍を支援する』をテーマに、発足以来活動を展開してまいりました。主な活動に会員企業から選ばれた女性管理職を目指す女性社員たち総勢260名強が、20名程度のグループに分かれ自主的に決めたテーマに基づいて行う分科会活動があります。

その中のひとつ「キャリア教育のあり方 分科会」では、いまの学生たちがリアルに“社会人”を感じる機会が少なく、実際の就職の際の判断基準が自分自身の親(特に母親)の考え方に感化されていることや、就職はゴールではなくスタートであり、ライフイベントに応じて何度もキャリアの選択を迫られるという背景を鑑み、自分たちの実際の話を通じて、社会や就労に関する目的意識を持ち自らのキャリアを描けるようになることを狙い、就職を控えた大学生へのキャリア教育の実施を目指して活動してきました。

また一方で、依然として厳しい就職環境が続くなか、今の学生たちにとっては「就職」が人生における最大の難関と捉えられており、大学側も単なる就職活動支援にとどまらない、様々な教育機会を提供する試みを開始しています。

そこでこの度、立教大学・経営学部 尾崎教授、お茶の水女子大学・キャリア支援センター 亀山准教授のご理解・ご支援を受け、実際の講義を行う機会を得ることができました。講義では、企業の第一線で働く女性たちが自らの経験・失敗談・その乗り越え方を伝えることで「大学生のキャリア意識を醸成する」とともに、企業側がダイバーシティマネジメントを推進している意味、目的、その成果と課題等を理解することで「経営戦略としてのダイバーシティを学ぶ」ことも目的としています。

現在、世界ではトップとして活躍する女性が増えているのに、管理職のうちの女性割合は、3割を超す欧米諸国に比べて、日本はわずか1割程度（*1）と非常に低い為、国としても“2030年までに女性管理職30%を目指す”という目標も示しています。また企業も、女性のライフイベントに対応した働き方を支援する制度づくりや、女性管理職数拡大のためのしくみづくりに積極的に取り組んでいます。ただ一方で、このような企業や行政からの追い風のある中、当の女性達には管理職になりたくないという人が多いのも事実です。

この状況を打破し、女性が企業内でリーダーになっていくためには、企業側の意識や制度等の変革だけでなく、働く女性たち自身の意識改革、つまり将来的に企業内でエグゼクティブを目指していくという明確な意思を持つことが非常に大切です。

日本女性の教育水準は世界的にみても非常に高いにもかかわらず、入社前から企業内における上昇志向・競争意識を持って入社する人は少なく、入社後の環境によってもキャリア意識の形成に差が出てくるのが実情です。

J-Win では、この度の立教大学・お茶の水女子大学と協同して行う講義を通じて、企業の中でキャリアを積んできた女性達が実際に経験してきたキャリア形成過程の悩みや乗り越え方や、会社でリーダーになるとはどういうことなのか、等を様々なケーススタディを提示することにより、就職という一大イベントの前に学生たちに自分自身のキャリアについて考える機会をもたせ、学生の意識を変革し、さらにはリーダーを目指したいという次世代リーダー候補者の裾野を拡大していきたいと考えています。

立教大学での講義は 2012年9月29日（土）より、毎週土曜日開講。2013年1月までの全13回予定。お茶の水女子大学は 2012年10月20日（土）11月17日（土）12月15日（土）の集中講義（9：00～18：10）の全3回を予定しています。

各講義の具体的な内容、講師など詳細は次頁以降に記載しております。

尚、授業風景および担当講師、学生への取材についてもご相談に応じております。

ご希望がございましたら、下記問い合わせ担当宛にご連絡ください。

*1) 日本は総務省「労働力調査」2010年、欧米諸国はILO「LABORSTA」2008年より

本件に関するお問い合わせ先

| | |
|-----------------------|--------------------|
| NPO 法人 J-Win (ジェイウィン) | |
| 広報担当 | : 海老原 |
| TEL | : 03-6380-8420 (代) |
| FAX | : 03-6380-8427 |
| e-Mail | : ebihara@j-win.jp |

立教大学・お茶の水女子大学、各大学での講義内容および日程などの詳細情報は下記の通り。

●立教大学 実施概要

- ・科目名 : 企業人セミナー 「ダイバーシティ・マネジメント」
- ・担当教授 : 経営学部 尾崎俊哉
- ・期間 : 2012年9月29日(土) ~ 2013年1月19日(土) 全13回
10:45 ~ 12:15
- ・対象 : 2~4年生 (男女問わず)
- ・受講人数 : 50人程度

・講義テーマ・担当企業

1つのテーマについて2回にわたり、講義とディスカッションを行う。

- | | | |
|------|--------|-----------------------------|
| 第1回 | 9月29日 | 「グローバル化対応とダイバーシティ・マネジメント」 |
| 第2回 | 10月6日 | |
| 第3回 | 10月13日 | 「障がい者とともに働く(障がい者雇用を考える)」 |
| 第4回 | 10月20日 | |
| 第5回 | 10月27日 | 「ライフイベントとの付き合い方」 |
| 第6回 | 11月10日 | |
| 第7回 | 11月24日 | 「キャリアの蓄積(営業で働くこと)」 |
| 第8回 | 12月1日 | |
| 第9回 | 12月8日 | 「キャリアの蓄積(転職・留学・キャリアチェンジ)」 |
| 第10回 | 12月15日 | |
| 第11回 | 12月22日 | 「各企業のダイバーシティ戦略(企業による課題の相違)」 |
| 第12回 | 1月12日 | |
| 第13回 | 1月19日 | グループ討議発表 |

●お茶の水女子大学 実施概要

- ・科目名 : 「共生社会で働く」～自分の未来図を描く～
- ・担当教授 : キャリア支援センター 亀山 俊朗
- ・期間 : 第1回 2012年10月20日(土) 9:00～18:10
第2回 2012年11月17日(土) 9:00～18:10
第3回 2012年12月15日(土) 9:00～18:10
- ・対象 : 1～4年生
- ・受講人数 : 50人程度(予定)

・講義テーマと目的

誰もがいつか経験をする社会の多様性(ダイバーシティ)の中で自分らしく輝くためにはどのようなスキルと知識が必要か。リアルな経験を交えた講義とグループワークを通して学び、自分の将来のキャリアデザインについて考察していく。ダイバーシティの中の様々な価値観を理解し、最終的には、自分の未来のために「“今”何が必要か」を自ら考え実行できるようになることを目指す。

第1回 2012年10月20日(土)

『働き方の多様性』～将来一員となる「ダイバーシティ」を考える

学校と社会でのコミュニケーションの違いと、女性の多様な働き方を認識させる。

第2回 2012年11月17日(土)

『キャリアデザイン』～ダイバーシティの中の「個人」を考える

自分の強みを活かし、仕事や人間の幅を与えてくれるリーダー経験についてイメージを広め、自分の未来をシミュレーションさせる。

第3回 2012年12月15日(土)

『自分らしく輝く未来のために』～「個人」から「自分自身」を創造する

どのような女性の社会進出が理想的なのか、自分ごととして考えさせ、またそのために今何が必要かを考察させる。

●キャリア教育のあり方分科会参加会社一覧 (50音順)

株式会社朝日新聞社、NTTコミュニケーションズ株式会社、株式会社NTTドコモ、MSD株式会社、オムロンパーソネル株式会社、キャタピラージャパン株式会社、株式会社国際協力銀行、サッポロビール株式会社、全日本空輸株式会社、ソニー株式会社、ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社、株式会社損害保険ジャパン、第一生命保険株式会社、TAC株式会社、トッパン・フォームズ株式会社、有限責任監査法人トーマツ、株式会社パルコ、東日本旅客鉄道株式会社、株式会社日立ソリューションズ、ベルリッツ・ジャパン株式会社、みずほ証券株式会社、株式会社三菱東京UFJ銀行、ミニストップ株式会社、株式会社リクルートマーケティングパートナーズ